

# 令和6年度 学校評価書 (年度)

《学校教育目標》

心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成

〈今年度の重点目標〉

「共感」「規律」を基にした「自己決定力」

～「学美」の往還～



9/27～28 合唱コンクール・北陽中祭  
「瞬華絢党」一人一人が個性を輝かせた、最高の2日間



10～11月 地域でのボランティア演奏活動  
地域とともに歩んできた10年間。北陽中生の元気と感謝を音楽の力で発信



10/10 11年目の嘉手納交流  
「いちやりばちよーでー」(一度出会ったら皆兄弟)  
嘉手納中との変わらぬ「絆」



令和7年2月3日(月)  
大館市立北陽中学校

## 令和6年度 学校評価一覧(年度)

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開										
今年度の重点		教育目標：心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成 重点目標：「共感」「規律」を基にした「自己決定力」～「学美」の往還～						学校名 (大館市立北陽中学校)		
市教育 施策	学校 評価 項目	自己評価A	学校関係者評価	評価指標	担当	実践課題	主な取組	自己評価B		
<b>人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成</b>	I 運営・展開	「ゆるぎない学校の創造」へ、ともに物語を紡ぐ職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で鍛える振舞いの実践が行われている。	良好	良好			(1) チーム北陽の在り方	教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくり	4	
							(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	指導部長会、主任会、学鍛(担)会による共通理解・共通実践の強化		
							(3) 情報発信と地域連携の推進	学校HPや学校報での情報発信と地域活動推進による地域とのつながりの強化		
							(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	目標実現に向けた教育活動展開のための予算配分の工夫と計画的な執行		
	II 企画・調整	生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実態に応じた調整が図られている。	おおむね 良好	良好				(5) 教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理	先を見通した早めの全体計画・予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理	4
								(6) 組織を活用した学校行事の企画	校務部や学年部と連携し、心を育てる行事の企画	
								(7) 「深い学び」の共通理解と具体的実践	教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践	
								(8) 全教育活動での「学美」の充実	教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアー	
	III 主体的学習態度・基本的学習習慣	生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付ける「学びかた」の指導に努めている。	おおむね 良好	おおむね 良好				(9) 「学びかた」の指導	学ぶ意義や目的を生徒に自覚させる手立ての工夫	3
								(10) 授業の充実	共感と規律をベースにした授業づくり 生徒の「？」や「！」を引き出す仕掛け	
								(11) 学びとキャリア発達	学習の定着を図るまとめとキャリア発達につなげる振り返り	
	IV 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣	生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心な生活、健全な日常を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	良好	良好				(12) 安心・安全で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実 危機回避能力育成と事故防止対策	4
								(13) 健康的な生活習慣の育成	安定した生活習慣と感染症予防対策	
								(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	多面的な生徒理解と組織的且つ効果的な教育相談の研修と体制づくり	
	V 思いやりの心、たくましい心	居心地のよい集団を実現する「集いかた」の指導、仲間と心をつにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	良好	きわめて 良好				(15) より良い集団生活を目指す学級・学年活動	個のよさが発揮される学級・学年づくり 共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	4
								(16) 集団力を高める自主的・自立的諸活動	創意に満ちた生徒会活動の充実 学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	
								(17) 仲間と心をつにし、目標に向かう「挑みかた」の指導	三人行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛け	

## V 評価

### A 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もぼらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

## I 運営・展開

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
「ゆるぎない学校の創造」へ、旅路をともに歩む職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で鍛える振舞いの実践が行われている。	前期 良好	良好	若手教員が伸び伸びと授業に取り組んでいる姿が印象的だった。若手、中堅、ベテランがバランスよく配置され、日々の活動がそのまま研修の場となっている。今後も研鑽を重ねて、北陽中生の健やかな成長のためにいっそう取り組んでほしい。
	年度 良好	良好	若手、中堅、ベテランが力を発揮できるように、共通実践を大切に学校運営に取り組んでいることが授業の様子から感じ取れた。学校、生徒、保護者だけでなく、地域を巻き込んだ「チーム北陽」としてのコミュニケーションが取れていることも素晴らしい。
自己評価の概要と学校の改善策	(1)(2)について 今年度は、初任研・中堅研を始めとして、経験年数による研修(5年目研、講師研、習得研(3年目教員))や職務別研修(新任研究主任、新任進路指導主事)が多くある年となった。様々な研修を受けた成果を、全体に広めるチャンスの日とも言える。OJTの考えを生かし、学んできた最新の教育実践や理論などを、校内研修の場で生かし、北陽中の教員全体の力量を高められるようにしたい。 通常学級の担任全員が採用7年目までの若手教員となっており、教員間の相互連携は重要度を増している。ランチミーティングは、若手教員にとって助けになっていることがアンケートの結果から読み取れる。普段からの声掛けも重視し、「チーム北陽」の機運を醸成したい。		
	(3)について コロナ感染症の影響が少なくなり、部活動や各種活動もほぼ制限なしで行えるようになりつつある。運動会前に「開校10年記念人文字の空撮」についてお知らせしたところ、多くの保護者や地域の皆様が集まり、大きな盛り上がりを見せた。地域住民が学校に対して期待を寄せていることが分かる出来事であった。また、北陽中が従来から積極的に取り組んできた「子どもハローワーク」の活動も、多くのものが復活し、複数の活動を自主的に申し込む生徒も増えてきた。 その活動を発信する手立てとして学校報や学校ホームページがあるが、充実度はまだまだ物足りない。北陽中のよさを校外外に発信することで、生徒が満足感や自己肯定感を感じたり、保護者や地域住民が学校へ協力する雰囲気が高められるよう、より努めていきたい。		
	(4)について一教職員評価は横ばい 「生徒と職員が円滑に活動に取り組める環境づくり」という観点において、主査の先を見通した提案や職員への周知は大きな助けとなっている。情報交換を密にして、適正な環境づくりに努めたい。		
	(1)(2)について一保護者評価は横ばい。教職員評価はやや上昇。 指導部長(生徒指導主事、研究主任、特活指導部長)に若手教員(採用7年目までの教員)を配置し、新しい北陽中を創るために今までの取組にとらわれないアイデアを学校経営に生かすことができた。今後も教職員構成の若年層化は進んでいくことが予想されるが、若手・中堅・ベテランが相互に支え合いながら、勢いのある学校づくりを進めていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 組織の活性化	(1) チーム北陽の在り方	教職員の指導力・専門性を高めるための人財育成・組織づくり	4	4
	(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	指導部長会、主任会、学級(担)会による共通理解・共通実践の強化		
2 地域の教育力の活用	(3) 情報発信と地域活動の推進	学校HPや学校報による情報発信と地域活動推進による地域とのつながりの強化	3	4
3 適切な予算運用	(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	教育活動の成果を高める予算配分・予算獲得と計画的な執行	4	4

### [1に關連するデータ]

【アンケート種別】 ○生徒 □保護者 ■教職員  
【5段階評価】 5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分

#### (1) チーム北陽の在り方

- 本校教育目標「心打つ振舞いで自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」の達成度は現在のところどれくらいと感じているか。  
 教職員の指導力・専門性を高めるための人財育成を兼ね備えた組織づくりが行われているか。

R6年度	R6前期	増減
3.8	3.8	± 0.0
4.2	4.0	+ 0.2

#### (2) 校務部及び学年部の効果的な連携

- 指導部長会、主任会、学級(担)会が共通理解・共通実践の強化につながっているか。

R6年度	R6前期	増減
4.2	4.3	- 0.1

### [2に關連するデータ]

#### (3) 諸通信の発行と地域活動の推進

- 学校報の地域回覧・掲示や学校HPの更新、地域行事への参加・子どもハローワークの取組・防災活動の推進によって、地域とのつながりが深まっていると思うか。(R6 地域行事・子どもハローワークについて追記)  
 学校報地域回覧・掲示や学校HPの更新、地域活動の推進によって地域とのつながりが強化されていると感じるか。  
 学校報や学校HPによる情報発信と地域活動推進によって地域とのつながりが強化されているか。

R6年度	R6前期	増減
4.3	4.2	+ 0.1
3.9	3.8	+ 0.1
4.3	3.9	+ 0.4

### [3に關連するデータ]

#### (4) 計画的な予算執行と適正な会計管理

- 予算配分・予算獲得と計画的な執行により、教育活動の成果が高まっているか。

R6年度	R6前期	増減
4.4	4.2	+ 0.2

## ア 学校運営の状況

### II 企画・調整

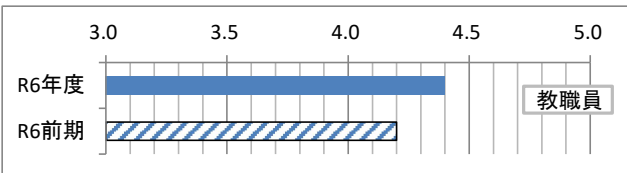
学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実態に応じた調整が図られている。	前期	おおむね良好	良好	全体的に数値が向上しており、生徒や保護者の満足度は高い。先生方の評価は自分に厳しい姿勢と捉えられる。生徒の「学美ツアー」の取り組みは、今年重点にある「自己決定力」が高まっている現れとみる。自ら成長していこうとする北陽中生を育ててほしい。
	年度	おおむね良好	良好	生徒の心を育てる学校行事が、確かなねらいをもってなされている。生徒が主体となって取り組める仕掛けがあり、生徒の自主性を育てる力となっている。学美ツアーは、教育目標を達成するために意図をもって取組が進められており、今後ますます効果が上がっていくことが期待できる。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>(5)について:数値は昨年度と同様である。指導部長会や主任会、学級会などのランチミーティングや週案の早めの提案などを通して、多くの先生方が日々の活動や行事に対して見通しをもつことができていた。後期も継続し、先を見通した提案を行っていく。</p> <p>(6)について:生徒や保護者の数値は昨年度より高い。昨年度に引き続き、行事のねらいや目指す姿を共有する全校集会を行ったことはもちろん、今年度は行事の中に保護者や地域の方々に参加してもらった活動を取り入れたことが大きな要因だと考える。先輩の姿を手本にしたり、全校で目指すゴールの姿に向かって活動したりしていくことが、子どもたちの達成感につながっている。後期も、開校10年の節目の行事を生徒・教職員・保護者・地域で創り上げていく。</p> <p>(7)について:4月に全員参加の学美ツアーを行い、全職員で北陽中の目指す姿を共通理解して取り組んでいけるようにした。各教科で研究課題を達成するために日々の授業実践をしているが、北陽スタンダードなどがどれほど定着しているかを確認する時間が不足していたため、その部分の改善を図っていく。</p> <p>(8)について:様々な場面で先輩が後輩に手本を見せる形で学美ツアーを行い、後輩のスムーズな活動につながった。今後も生徒と教師から上がった声を踏まえて学美ツアーが設定されるようにしていきたい。指定訪問や視察の機会を逃さず、全員で研究主題を達成しようとする姿勢をつくりあげていきたい。</p>			
	<p>(5)について:定期的な主任会や指導部長会を通して、見通しある教育活動の提案や余裕をもった諸帳簿作成をすることができた。今後も学年主任や指導部長と連携しながら見通しある提案を継続していく。</p> <p>(6)について:後期は職員間のランチミーティングだけでなく、学校行事(学校祭・合唱コンクール)に関わる生徒のリリーダを交えたランチミーティングを行った。生徒と職員が共通理解を図り、決定したことを後輩たちに伝えながら10年目にふさわしい学校行事を創り上げることができた。今後は生徒数の減少もあるが、行事や諸活動の意義やねらいを明確にし、内容を精選しながら取り組んでいきたい。</p> <p>(7)について:北陽スタンダードが以前よりも定着してきた。12月に研究推進委員会を開き、これまでの各教科での実践と現在の北陽中生の姿を全職員で確認し、今後目指す北陽中生の姿を話し合った。目指す姿を全職員で意識し続けていきたい。</p> <p>(8)について:各種訪問の際に研修や学美ツアーを行ったが、それ以外では大きな学美ツアーの企画は行わなかった。どのような場面を見たいのかを職員から声を上げてもらい、視点を決めた学びツアーを計画していくようにしたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 校務アジャストメント	(5)教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理	先を見通した早めの全体計画と予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理	4	4
	(6)心を動かす学校行事の工夫	各校務部・各学年部と連携し、心を育てる行事の企画		
5 経営課題のクローズアップ	(7)「深い学び」の共通理解と具体的実践	教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践	3	3
	(8)全教育活動での「学美」の充実	教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアー		

○学校評価アンケートの数値から (○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価[5:大変よい~3:おおむねよい~1:不十分]

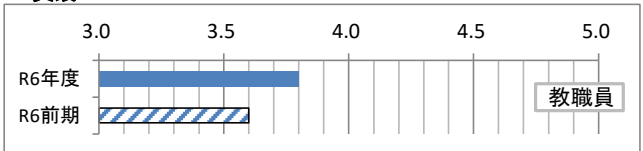
#### [4(5)に関連するデータ]

##### ■教育活動を支える見通しある提案、学校諸帳簿作成・管理



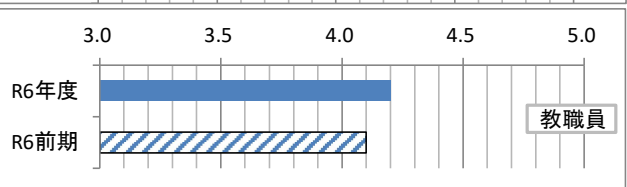
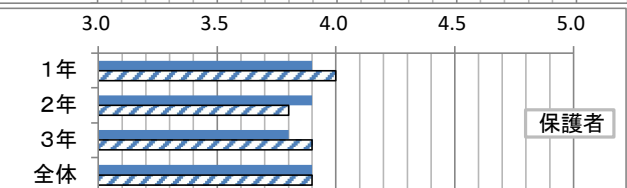
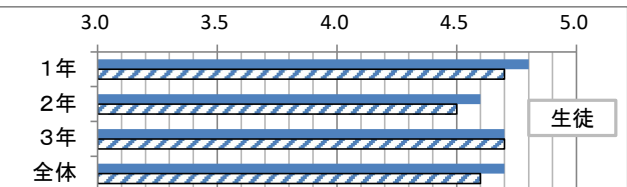
#### [5(7)に関連するデータ]

##### ■教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践



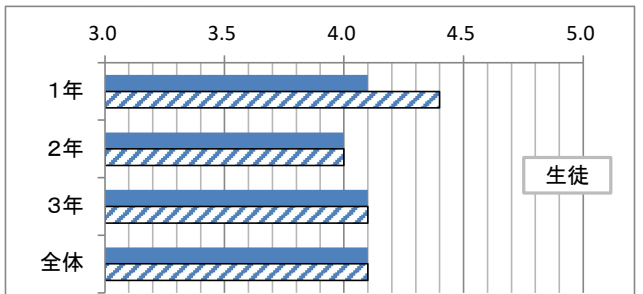
#### [4(6)に関連するデータ]

##### ○□心を動かす学校行事の企画

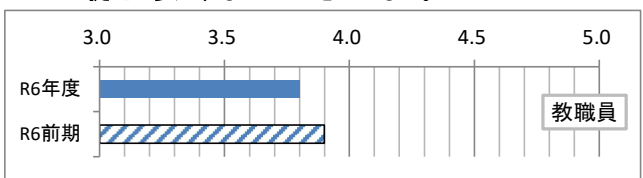


#### [5(8)に関連するデータ]

##### ○学校行事や授業等で学美ツアーが行われ、自分の学校生活や学習に役立っているか。



##### ■教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアーが計画され、自分事として捉えて参加することができているか。



イ 生徒の状況

Ⅲ 主体的学習態度・基本的学習習慣

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント	
生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付ける「学びかた」の指導に努めている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	授業では、生徒同士のやりとり、ペアでの学び合いなど、学習形態が工夫されている。保護者のヒヤリングなどからも、北陽中の授業に対する満足度は高いことがうかがえる。教職員からは、学力の定着について課題があるとの意見があった。家庭と連携しながら、学力を定着させるとともに、自ら学ぶ生徒を育ててほしい。
	年度	おおむね良好	おおむね良好	生徒の主体的な学習態度を育てる授業の工夫が随所にあり、生き生きと授業を受けている。自己決定をする場面が授業にあり、生徒を動かす授業になっている。学力の定着については「伸びしろ」ということで、引き続き取り組んでほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	(9)について：年度当初に「学習の約束」を共通理解するとともに、家庭学習ノートのよい例を定期的に掲示したり、ドリルタイムに生徒同士で家庭学習ノートを見合う機会を設定したことが、生徒の数値に反映されていると考える。こうした「学びの往還」が家庭で自学する振舞いとして現れるよう、家庭学習の充実について話し合ったり、その取組を振り返る機会を意図的に設定したりして、自分事として考えられるようにしていく。			
	(10)について：生徒の疑問や気付きを生かした授業づくりを心掛けてきた。定期テストに向けた学習計画を立てる際に、学習委員の2・3年生が1年生に助言する学美ツアーも行った。今後は、授業で学んだことを確かな学力として定着させるために、学習課題の吟味や習熟の時間を確保するなど、日々の実践の精度を高めるとともに、年度末までに育てたい生徒の姿を見通して計画的に指導していく。			
	(11)について：各教科の特性に応じた振り返りを行い、次時の授業で紹介するなど個々の学びを認めたり全体に広めたりする取組をしてきた。今後は、まとめや振り返りが適切に実施されているか学習指導部を中心に定期的に情報交換していく。また、教室間に掲示している家庭学習ノート紹介コーナーに、振り返りカードを掲示するなど、よりよいまとめや振り返りを生徒間で共有できる機会も設定していく。			
	(9)について：帰りの会前のドリルタイムで、県学習状況調査や実力テストに向けた学習別コース学習を行った。また、テスト前にはワークや受験用問題集に特化して家庭学習を進めるなど、時期を捉えて対策してきた。今後は、授業で学んだこと、ドリルタイムや家庭学習との往還をさらに深めるための手立てを考えていきたい。例えば、「ドリルタイムで例題を解き、その演習問題を家庭学習で取り組む」「アジア州の特徴を家庭学習で整理し直し、そのまとめ方をドリルタイムで評価し合う」など、期間を設けて教科担当の教師が家庭学習ノートを点検することも実施していきたい。			
	(10)について：学習委員が積極的にチャイム前学習を呼び掛けたり、反応のバリエーションを増やす工夫をしたりと、生徒自らが課題と感じていることに対して進んで取り組もうとする姿が見られた。また、生徒の予想を生かした展開や、本時の振り返りを次時に生かす取組など、生徒の疑問や驚きを大切にしようとする授業を心掛けて実践している。今後は、北陽中の強みでもある「集団」の力を生かしながら、研究推進委員会でも話題になった「個」の力を育むための施策について検討していきたい。さらに、前日の教科連絡のうちに、次時のチャイム前学習の内容を伝えることも臨機応変に取り入れたい。			
(11)について：振り返りの目的や手段について、各教科の特性に合わせながら実施してきた。授業で学んだことが、次の授業だけではなく、他教科や学校行事、そして自他の生き方にどう関わるのか、学年が上がるにつれて熟考できる生徒が増えてきている。今後は、50分の授業の中で、まとめ・振り返りが適切に行われるようにタイムマネジメントを意識したり、各教科の振り返りを紹介し合う機会を設けたりしたい。				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 「学びかた」の指導	(9) 主体的学習態度の育成	学ぶ意義や目的を生徒に自覚させる手立ての工夫	3	3
7 確かな学力	(10) 授業の充実	共感と規律をベースにした授業づくり	3	3
		生徒の「？」疑問や「！」気付きを引き出す仕掛け		
	(11) 学びとキャリア発達	学習の定着を図るまとめとキャリア発達につなげる振り返り		

(○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価{5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分}

[6に関連するデータ]

(9) 主体的学習態度の育成

○家庭学習へのアドバイスやPUNの方法を、先生方は工夫してくれていると感じますか。
□一人一人に応じた家庭学習の仕方を助言したり、放課後のドリル学習の内容や方法を工夫したりするなど、お子さんは主体的に学習に取り組んでいると感じますか。
■学ぶ意義や必要性を明確にし、生徒自らが学びに向かう仕掛けづくりがなされているか。

R6年度	R6前期	増減
4.5	4.4	+0.1
3.6	3.4	+0.2
3.8	3.7	+0.1

[7に関連するデータ]

(10) 授業の充実 共感と規律をベースにした授業づくり

■共感と規律をベースにした授業づくりができたか。
--------------------------

R6年度	R6前期	増減
4.2	3.9	+0.3

(10) 授業の充実 生徒の「？」疑問や「！」気付きを引き出す仕掛け

○学校行事や授業などで学美ツアー（例：3年生が1年生の学活等に参加して、生徒総会の取組を説明するなど）が行われ、自分の学校生活や学習に役立っていますか。
□授業では、お子さんの「疑問」や「気付き」を引き出す工夫がされ、力が付いていると感じますか。
■生徒の「？」疑問や「！」驚き、気付きを引き出す仕掛けを工夫することができたか。

R6年度	R6前期	増減
4.1	4.1	±0.0
3.6	3.6	±0.0
3.9	3.8	+0.1

(11) 学びとキャリア発達 学習の定着を図るまとめとキャリア発達につなげる振り返り

■学びの定着を図るまとめとキャリア発達を促す振り返りがなされているか。
-------------------------------------

R6年度	R6前期	増減
3.7	3.6	+0.1

イ 生徒の状況

IV 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心な生活、健全な日常を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	前期 <b>おおむね良好</b> 年度 <b>良好</b>	<b>良好</b>	生徒のアンケートやヒヤリングから、先生方が親身になって関わっていることへの安心感が感じ取れた。先生方の日々の声かけや指導に感謝したい。不登校や不登校傾向の生徒にも、粘り強く関わってくれていてありがたい。今後も一人一人に寄り添った対応をお願いしたい。 教師の日常的な関わりや、必要に応じた専門職員(カウンセラー)による相談活動などにより、生徒が安心して学校生活を送っている。生徒が教師を信頼していることがよく分かる。防災・安全面では、教師が率先して指導に当たり、大きな成果を上げている。

自己評価の概要と学校の改善策

(12)について:1学期末に、生活向上委員がアンケート(下記①参照)を実施し、学校生活を振り返った。きまりを守れていないことやルールが曖昧であることなどの回答があった。後期生徒総会に向けて、学校のきまりについて見直しを図っていく。また、避難訓練や地域防災会議などを通して防災への意識付けを図ってきた。災害だけでなく、交通ルールを遵守した自転車の乗り方やヘルメット着用、熊対策など毎日の登下校についても、生徒が安心・安全に生活できるよう継続して指導していきたい。

(13)について:保健委員が熱中症対策を呼び掛け(下記②参照)たり、感染症対策ポスター(下記③参照)を掲示したりするなど、生徒が主体的に活動できるよう教師がサポート側に回って働きかけてきた。また、今年度もメディアに関する実態調査を行い、メディアコントロールへの意識付けを図っている。今後は、教職員間でルールや暮らしかたのきまりを共通理解した上で、家庭へ働きかけ、生徒が自らの生活習慣を見直すことができるよう粘り強く指導していきたい。

(14)について:今年度も5月に教育相談(下記④参照)を実施し、生徒理解に努めた。また、生活向上委員で行っている毎朝の挨拶運動をはじめ、6月27日(木)には、大館地区保護司会と更生保護女性会の方に校門前あいさつ声掛けキャンペーン(下記⑤参照)を実施していただいた。未然防止や早期発見に向けて、日頃から小さなサインを見逃さないことや些細なことでも全職員で共有できるよう組織的に対応していきたい。また校外外問わず、チーム学校として地域や関係機関と連携しながら、一人たりとも置き去りにしない教育を目指していきたい。

(12)について:今年度も花岡地区の「おはよう作戦」(下記①参照)には多くの生徒が参加し、地域活動に取り組んだ。また生活向上委員が中心となり、落ち葉拾いや除雪作業(下記②参照)を行い、通学路や校地内の環境整備に協力してきた。今年度は熊の目撃情報が少なかったが、教職員による巡視等を行い、生徒に熊鈴を配付し事故防止について意識付けを図ってきた。さらに、大館市消防本部の協力により、2年生を対象に救急救命講習会(下記③参照)を実施するなど、危機回避能力の育成にも意識付けを図ることができた。今後も生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、生徒の自主的活動を進め、様々な場面で「暮らしかた」の指導を継続していく。

(13)について:保健委員が放送で、感染症や防寒対策の呼び掛けをしてきた。また、メディアコントロールに向けた情報発信や大館警察署生活安全課による薬物乱用防止教室(下記④参照)を実施するなど、健全な生活習慣の育成や非行防止について意識付けを図った。少年健全育成標語コンテストにもたくさん生徒が応募し(下記⑤参照)、SNS利用やネット依存について啓発活動にも取り組んだ。さらに、悩みや不安を一人で抱え込まないようにするために、生徒同士がお互いの心に寄り添う取り組みとして、保健委員による「みんなでシェアハピ」(下記⑥参照)を実施した。今後も生徒が自らの生活習慣を見直し自分を律することができるよう、主体的な活動を促すような働きかけを継続していく。

(14)について:教育相談を11月に実施し生徒理解に努めた。また関係機関と連携しながら、組織的な指導・支援を心掛け、日々の生徒観察やアンケートの活用(下記⑦参照)など多面的な生徒理解を図り、個別対応にあたってきた。不登校傾向の生徒については、SCと面談する機会を設けたり、通級指導教室での個別学習を進めたりするなど、生徒の実態に応じて対応してきた。今後も生徒が自己決定できるような支援体制を整え、活躍できる場を設定し自己有用感を高められるような働きかけを継続していく。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 規律ある学校生活	(12) 安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実 危機回避能力育成と事故防止対策	3	4
9 心身の健康の保持増進	(13) 健全な生活習慣の育成	安定した生活習慣と感染症予防対策	3	4
10 教育相談の充実	(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	多面的な生徒理解と組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくり	4	4

(○生徒 □保護者 ■教職員)

※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分]

**【8に関連するデータ】**  
**(12)安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導**  
 北陽中生自身が「暮らしかた」(挨拶や身だしなみ、時間を意識した行動など)を見直し、規律ある学校生活の充実が図られていますか。  
 災害や事故から身を守り、自分の命を自分で守る力が身に付いていますか。  
 生徒が自ら「暮らしかた」(挨拶・身だしなみ・時間を意識した行動など)を見直し、職員が適切に指導したりすることで、規律ある学校生活ができていると感じますか。  
 生徒によって「暮らしかた」が見直され、充実が図られているか。  
 安心・安全な生活のために、生徒の危機回避能力を育成し、事故防止対策が取られているか。

R6年度	R6前期	増減
4.1	4.1	± 0.0
4.5	4.6	- 0.1
3.9	3.7	+ 0.2
3.9	3.7	+ 0.2
4.3	3.9	+ 0.4

**【9に関連するデータ】**  
**(13)健全な生活習慣の育成**  
 感染症予防対策を実行し、望ましい生活習慣が身に付いていますか。  
 害獣(クマ)対策・熱中症等予防対策・感染症等予防対策が講じられ、安心・安全な学校生活を送る体制が整えられていると感じますか。  
 健全な生活習慣の育成のために安定した生活習慣の確立と、感染症予防対策が取られているか。

R6年度	R6前期	増減
4.2	4.2	± 0.0
4.4	4.0	+ 0.4
4.2	3.8	+ 0.4

**【10に関連するデータ】**  
**(14)日常的・積極的な教育相談と生徒理解**  
 教育相談やカウンセリングなどで、先生は親身になって対応してくれませんか。  
 多面的な生徒理解と、組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくりがなされているか。

R6年度	R6前期	増減
4.7	4.6	+ 0.1
4.2	4.1	+ 0.1



**⑤少年健全育成標語コンテストへの応募**  
 少年健全育成標語コンテスト表彰式 優秀賞 優秀賞  
 「一度だけそこから始まる依存症」  
 「大丈夫? 顔の見えないお付き合い」

**⑥保健委員による「みんなでシェアハピ」(廊下掲示)**  
 みんなでシェアハピ  
 ★お悩み一覧 電子メディア編～  
 【なかなかやめられない】  
 1 時間を守りたいのに、ユーチューブがやめられないです。どうすればよいですか?  
 2 メディアをやめなきゃいけないのに、やめられない時はどうしていますか?  
 3 メディアの使用時間を減らすために、工夫していることを教えてください。

**⑦諸調査・アンケートの活用**  
 アンケート結果を分析し、気になる生徒をピックアップし、個別に対応したり、全体指導に生かしたりする。

## イ 生徒の状況

### V 思いやりの心、たくましい心

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校関係者評価委員のコメント
居心地のよい集団を実現する「集いかた」の指導、仲間と心をつなぐ、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	良好	良好	北陽中生の特徴であり魅力でもある「共感性の高さ」が存分に発揮されていた前期の活動であった。特に3年生の頑張りや、主体性も育ちつつある。地域を気づける中心となる中学生になれるように、10年目の節目の意識を大切に、今後も取り組んでもらいたい。
	良好	きわめて良好	北陽中の「振舞い」は、地域住民や外部視察の教育関係者から非常に高い評価を受けている。生徒会の組織を再編したことも、生徒の自主性を育てるいいきっかけになっている。北陽中の強みである集団力は、きわめて高いレベルであり大いに評価したい。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>(15)について：学級の短学活で日直がスピーチをし、それに対して質問や反応したり、学年で1学期の振り返りやレクリエーションしたりして、個のよさを発揮したり、互いに認め合ったりすることができる場面を設定している。学級活動における話し合い活動においても、中央委員を中心としながら互いに自分の考えを発表し合う中で、互いの考えを尊重し合いながらよりよい考えにしていこうとする姿が見られる。今後、集会のねらいを明確にした「集い方」の指導を充実させるとともに、学級活動で培われた個のよさを存分に発揮できる場や互いのよさを認め合う場面を意図的に設定し、行事などに往還させていきたい。</p> <p>(16)について：委員会などの生徒会活動を全体的に見るとそれぞれが創意工夫を凝らし、それを教師がサポートする形で行うことができていた。生徒が主体的で自律した活動を促すために、活動の目的や意義、当番の責任を再確認するとともに、活動をやり遂げたときの達成感や成就感を味わわせるように、普段の委員会活動の充実を図っていききたい。また、委員会編成を機に、仕事を見直し、持続可能な取組を目指していきたい。</p> <p>(17)について：運動会では、事前に決起集会を行った。「10年目」をキーワードにし、「生徒に主体性をもたせること」、「それぞれの学年における役割を果たすこと」という2つのねらいをもとに計画した。その結果、3年生を中心に縦のつながりを大切にしながら取り組む姿が見られ、活動後の達成感や充実感も大きかった。2学期の合唱コンクールや北陽中祭に向けて、更に生徒の心に火を灯すような仕掛けを行い「挑みかた」の指導を充実させるとともに、部活強調期間全体の練習量にも配慮していききたい。また、行事における見通しを生徒と教員が共通理解しながら進めていきたい。</p>		
	<p>(15)について：生徒総会の全校討議では、集会のねらいや行い方を明確にし、学級活動や授業等で培われた個のよさを存分に発揮できる場を設定した。また、全校討議で学んだことを普段の授業に往還させようとする姿は見られるようになった。短学活では、各学級で日直がスピーチをし、それに対してあたたかい反応すること、学年で学期を振り返る活動を通して、個のよさを発揮したり、互いに認め合ったりすることができる場面の設定を継続している。学級会等を通して、各学級でどのような取組をしているかを共有する場面を設定し、今後も様々な取組を考えていきたい。</p> <p>(16)について：生徒会活動では、これまでの伝統を受け継ぎつつ、職員を含めた全校で活動の目的や意義を共有した。教師のサポートもあり、執行部や委員長を中心に、創意工夫を凝らした活動が増えてきた。生徒や職員の数値が高まり、達成感や成就感が高まっている分、保護者に伝わっていないことが課題である。今後は、各委員会の仕事内容を精選し、活動の様子をHP等で発信していきたい。</p> <p>(17)について：北陽中祭・合唱コンクールの活動や準備で、3年生が中心となって自発的に活動する場面が多く見られ、1、2年生も3年生を背中を見ながら目標に向かっていくことができた。昨年度同様に生徒たちや職員は、達成感を実感しているが、保護者の数値には反映されていないためことが課題である。子どもたちの活動の様子や日頃の取組が伝わるような手段を考えていききたい。また、今後生徒数が少なくなることが予想される。行事の内容についても生徒と共に考え、更に感動を味わえるようなものにしていきたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 より良い集団生活をを目指す学級・学年活動	(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	4	4
12 集団力を高める自主的・自立的諸活動	(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	4	4
	(17) 仲間と心をつなぐ、目標に向かう「挑みかた」の指導	三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛け		

(○生徒 □保護者 ■教職員)

[11]に関連するデータ ※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分]

(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり

<input type="radio"/> 個のよさが発揮され、仲間と協働して取り組めるような学級活動が行われていましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> 共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動が実践されていたか。

R6年度	R6前期	増減
4.6	4.6	0
4.1	3.7	+0.4

[12]に関連するデータ

(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実

<input type="radio"/> 集団力を高めるような、創意ある生徒会活動が行われていましたか。
<input type="checkbox"/> 生徒会活動は、集団力を高めるような創意ある活動になっていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動が行われているか。

R6年度	R6前期	増減
4.4	4.4	0
3.8	3.8	0
4.2	3.5	+0.7

(17) 仲間と心をつなぐ、目標に向かう「挑みかた」の指導

<input type="radio"/> 北陽中祭・合唱コンクールでは、仲間と心をつなぐ目標に向かって取り組み、感動や達成感を味わえましたか。
<input type="checkbox"/> 学校行事では、生徒の目の色を変える仕掛けがなされ、心を育てる工夫がされていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛けがなされているか。

R6年度	R6前期	増減
4.7	4.6	+0.1
3.9	3.9	0
4.2	4.0	+0.2



先輩から後輩へ校歌熱唱の伝承



伝統の意義について考えた全校討議



2学期を振り返る学年集会



学校祭感動のフィナーレ

## 令和6年度 学校評価一覧(年度)

### ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開

今年度の重点	教育目標：心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成 重点目標：「共感」と「規律」を基にした「自己決定力」～全教育活動での「学美」を軸に
--------	--

学校名 (大館市立北陽中学校)

学校教育実施	学校評価項目		自己評価A	学校関係者評価	学校評価項目別のコメント
	項目	内容			
人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	I 運営・展開	「ゆるぎない学校の創造」へ旅路をともに歩む職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で鍛える振舞いの実践が行われている。	教頭 良好	良好	若手、中堅、ベテランが力を発揮できるように、共通実践を大切にして学校運営に取り組んでいることが授業の様子から感じ取れた。学校、生徒、保護者だけでなく、地域を巻き込んだ「チーム北陽」としてのコミュニケーションが取れていることも素晴らしい。
	II 企画・調整	生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実態に応じた調整が図られている。	教務主任・研究主任 おおむね良好	良好	生徒の心を育てる学校行事が、確かなねらいをもってなされている。生徒が主体となって取り組める仕掛けがあり、生徒の自主性を育てる力となっている。学美ツアーは、教育目標を達成するために意図をもって取組が進められており、今後ますます効果が上がっていくことが期待できる。
	III 主体的学習態度・基本的学習習慣	生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付ける「学びかた」の指導に努めている。	学習指導部長 おおむね良好	おおむね良好	生徒の主体的な学習態度を育てる授業の工夫が随所にあり、生き生きと授業を受けている。自己決定をする場面が授業にあり、生徒を動かす授業になっている。学力の定着については「伸びしろ」ということで、引き続き取り組んでほしい。
	IV 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣	生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心な生活、健全な日常を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	生徒指導部長 良好	良好	教師の日常的な関わりや、必要に応じた専門職員（カウンセラー）による相談活動などにより、生徒が安心して学校生活を送っている。生徒が教師を信頼していることがよく分かる。防災・安全面では、教師が率先して指導に当たり、大きな成果を上げている。
	V 思いやり、心、たくましい心	居心地のよい集団を実現する「集いかた」の指導、仲間と心を一つにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	特活指導部長 良好	きわめて良好	北陽中の「振舞い」は、地域住民や外部視察の教育関係者から非常に高い評価を受けている。生徒会の組織を再編したことも、生徒の自主性を育てるいいきっかけになっている。北陽中の強みである集団力は、きわめて高いレベルであり大いに評価したい。
<p>〈全体コメント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活に対する「安心感」が生徒の様子から見て取れた。特に、教師と生徒との信頼関係が適切に構築されていることがヒヤリングから分かり安心している。今後とも、生徒一人一人に寄り添った指導をお願いしたい。</li> <li>・北陽中のよいところは、学校と生徒・保護者との良好な関係に加えて、地域との関わりを重視していること。三者が互いを支え合いながら、子どもたちを育ててほしい。</li> <li>・管理職や教務主任のリーダーシップの元、学校運営がバランスよく進められている。生徒が先生方を本当に信頼し、良好な関係で学校生活を送ることができているのが素晴らしい。アンケートの回収率が課題に挙がっているが、フォームだけでなく紙も使用するなど、一工夫あればもっとよくなると思われる。</li> <li>・生徒の自主性が育ってきており、今後ますますの成長を期待したい。</li> <li>・授業の様子から、生徒が安心して学んでいることを見ることができた。教師と生徒が同じ方向（目標）を向いて取り組んでいる。伝統を守る、先を見据えて改善する、といった考えが生徒から聞かれ「北陽中が好き」という思いが感じられた。</li> <li>・安心や信頼は学校の基盤となるので、今後とも同様の取組をお願いしたい。</li> <li>・先生を信頼していることがありがたい。（自分の子どもからは）なかなか学校の様子を聞けない（話さない）ので、学校からの積極的な情報発信は助かる。今後ともお願いしたい。</li> </ul>					